

日本プライマリ・ケア連合学会大阪府支部

第2回 総会のご案内

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本プライマリ・ケア連合学会 大阪府支部では、昨年に引き続き2回目の総会を開催する運びとなりましたのでご案内を申し上げます。

尚、今回は、総会前の時間を利用したプレ企画として、ポートフォリオに関する研修会「初学者向けポートフォリオ作成のコツ」も企画いたしました。

どうぞ多数の方のご参加・ご参画をよろしくお願い申し上げます。

尚、学会に入られていない方や大阪府以外の方のご参加も、大歓迎いたします。

敬 具

大阪府支部運営委員会 代表 梶山泰男

《大阪府支部 運営委員》

梶山泰男（中央区東医師会）	大島民旗（西淀病院）	太田祥彦（太田診療所）
恩田光子（大阪薬科大学）	梶原信之（市立池田病院）	木戸友幸（木戸医院）
坂上祐司（東住吉森本病院）	作 功一（作医院）	鈴木富雄（大阪医大）
高橋直子（近畿大学薬学部）	竹中裕昭（竹中医院）	外山 学（益田診療所）
仁科昌久（仁科医院）	西山順滋（関西医大）	森村美奈（大阪市大）
山寺慎一（菜の花診療所）		

記

日 時 3月13日（日）※ 昼食は付いておりません。

12：15～13：45 プレ企画「初学者向けポートフォリオ作成のコツ」

14：00～17：00 第2回総会

17：30頃～ 懇親会

会 場 関西医科大学附属枚方病院 13階 講堂

京阪電車「枚方市」駅 徒歩3分

<http://www.kmu.ac.jp/hirakata/h-access.html>

<http://www.kmu.ac.jp/hirakata/hospital/h-sisetsunaiyou.html>

参加費 医師・歯科医師・薬剤師：3,000円

その他の職種・研修医・学生：1,000円

懇親会 会場：関西医科大学3階 学生食堂 参加費：4,000円程度の予定

次 第 詳細プログラム裏面

申込締切 2月26日（金）

（日本医師会生涯教育研修単位 申請中）
（日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医／認定薬剤師単位 申請中）

主 催：プライマリ・ケア連合学会 大阪府支部

問い合わせ先／大阪府中央区石町2-1-7-515 ㈱ミック大阪内

TEL. 06-6946-0405 FAX. 06-6946-0802
mic-osaka@mub.biglobe.ne.jp

プログラム

12：15～13：45

【プレ企画：初学者向けポートフォリオ作成のコツ】

● ミニレクチャー

大島民旗

作成中のポートフォリオ提示とディスカッション

14：00～17：00

【第2回総会】

● 挨拶

澤木政光（澤木内科）

● 症例提示とミニレクチャー

鈴木富雄

● 大阪府会員・学会発表プレイバック口演 座長：竹中裕昭

①「ユマニチュードのあふれる病棟を目指して」

耳原総合病院 8 階病棟（演者未定）

②「他職種連携による入院から在宅への切れ目のない栄養管理」

田貝 泉（南港病院 訪問管理栄養士）

③「学生部会関西支部の取り組み ～地域医療体験実習と振り返りワークショップで
家庭医療・総合診療・全人的医療のプロフェッショナルリズムに出会う！」

大角 倫子（関西医科大学 医学生）

● 今後の大阪府支部の運営について

梶山泰男

● パネルディスカッション

「『退院させられた』『家に帰らせてもらえない』もなくしたい
～がん患者の退院支援と在宅医療導入」

司 会：西山順滋・外山 学

パネリスト：伊藤 章（弘善会クリニック 院長）

幸松健二（まんてん薬局 代表）

高沢洋子（よどきり訪問看護ステーション）

谷口さやか（アロー訪問看護ステーション）

大濱江美子（大阪市立総合医療センター MSW）

17：30頃～

【懇親会】 会場：関西医科大学 3 階 学生食堂

内容のご紹介

○ブレ企画：初学者向けポートフォリオ作成のコツ

『ポートフォリオ』は経験を通じて自己の振り返りと成長を促すのに効果的な方法で、同時に評価者にはその人の到達点を示すものです。現在家庭医療後期研修を行っている専攻医、プライマリ・ケア認定薬剤師を目指す方には受験時にポートフォリオの提出が必要になります。しかしベテラン医師にとってもなじみのない概念のため、作成する側教える側双方にとって結構ハードルの高いものとも言えます。

今回はポートフォリオを作成する、指導する「初学者」向けに、「これがポートフォリオか！」とわかるようなミニレクチャー、全体でのチェックを実施してみたいと思います。

○症例提示とミニレクチャー

プライマリ・ケア／家庭医療／総合診療的アプローチが奏功し、患者さんにとって有益であった事例について勉強します。診療所の（ベテラン）医師にとっては、日常診療の役に立ち、若手医師や学生、病院での指導医にとっては、そのようなアプローチの重要性を今一度認識する機会としていただければ幸いです。

○大阪府会員・学会発表プレイバックロ演

昨年の総会でたいへん好評でしたので、今回も、近畿地方会(11/29 奈良県橿原市)や全国大会(6/13・14 茨城県つくば市)における大阪府会員の御発表の中から、「たいへん良かったので是非、より多くの人に聞いてほしい」「是非聞きたかったが、聞くことができなかったので再演してほしい」というリクエストを受け、もう一度御発表いただく場を設けました。

・ユマニチュードのあふれる病棟を目指して

最近、注目をあつめるフランス生まれの認知症ケア「ユマニチュード」。

「そんな言葉、聞いたことがないよ」という方や、「わかっていても多忙な日常業務の中、そんなことはできないよ」という方も多いことと存じます。

この度、入院患者さんのほぼ100%が認知症という病棟で学習会を通してユマニチュードが導入されていく過程の報告がなされました。今後増えゆく認知症患者さんのケアの一つとして、この機会にユマニチュードをみなさまで共有させていただければ幸いです。

・「他職種連携による入院から在宅への切れ目のない栄養管理」

プライマリ・ケアの現場では、「歯の治療中で食べられない」「食欲がわからない」などという相談はめずらしくなく、消化酵素剤やドグマチールの処方だけでは対応しきれないことが少なくありません。そのような中、管理栄養士が中心となったアプローチが有効であった興味深い報告がなされました。

「食べて治す、食べて癒す」というモットーの下、地域に貢献される演者らの取り組みに注目です。

・「学生部会関西支部の取り組み ～地域医療体験実習と振り返りワークショップで家庭医療・総合診療・全人的医療のプロフェッショナリズムに出会う！」

医療系学生にとって大学との縁の薄いプライマリ・ケアの現場は興味はあってもアプローチしづらく、プライマリ・ケア側からすると、最先端の大学医療に接する学生に何を見せたらよいのか戸惑うことが少なくありません。

今回、関西での地域医療体験実習を行った医学生にその体験と感想を披露していただきます。日頃、現場では意識されない魅力や感動が披露されるか注目です。

○今後の大阪府支部の運営について

今後の大阪府支部の運営に際し、広く皆様からご意見を伺いながら進めていきたいと存じます。この機会に是非、皆様のご意見をお聞かせください。

○パネルディスカッション

『「退院させられた」も『家に帰らせてもらえない』もなくしたい ～がん患者の退院支援と在宅医療導入』

2025年問題、さらにその先に待ち構える2035年問題を控え、国が在宅医療の推進に必死になる社会背景は重々承知しつつも、単に施策に乗じるのではなく、“在宅医療は良いものだから進める”との立場から、主として、がん患者さんについて、

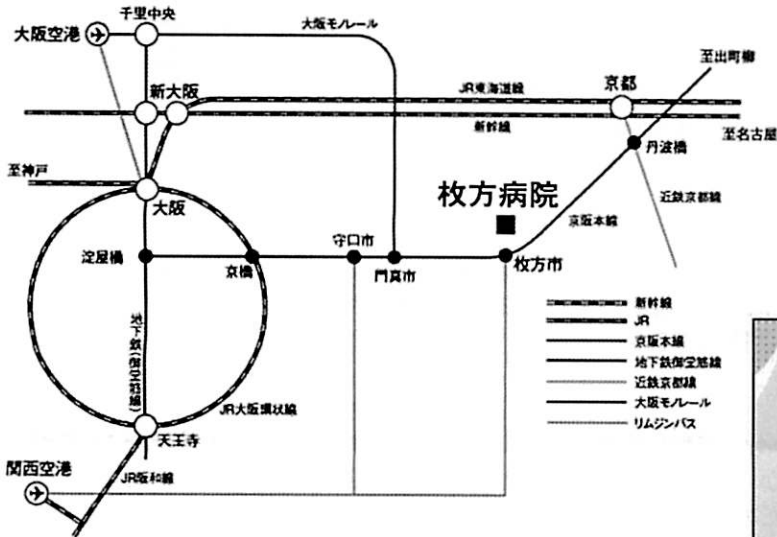
・『退院させられた』との思い（ほんとうは入院を継続したいのに、病院の事情により不本意ながらしぶしぶ退院せざるを得ない）

・『家に帰らせてもらえない』との思い（住み慣れた家で療養したいのに、無理と判断され、転院もしくは入院継続せざるを得ない）

を持つ方を、できるだけ出さなくてすむよう、より良い退院支援と在宅医療の導入（及び継続）のあり方について、皆様とともに、ディスカッションを行いたいと思います。

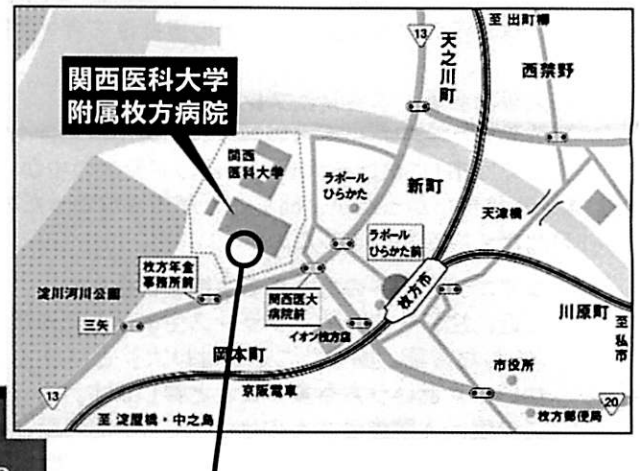
会場案内図

関西医科大学附属枚方病院 13階講堂



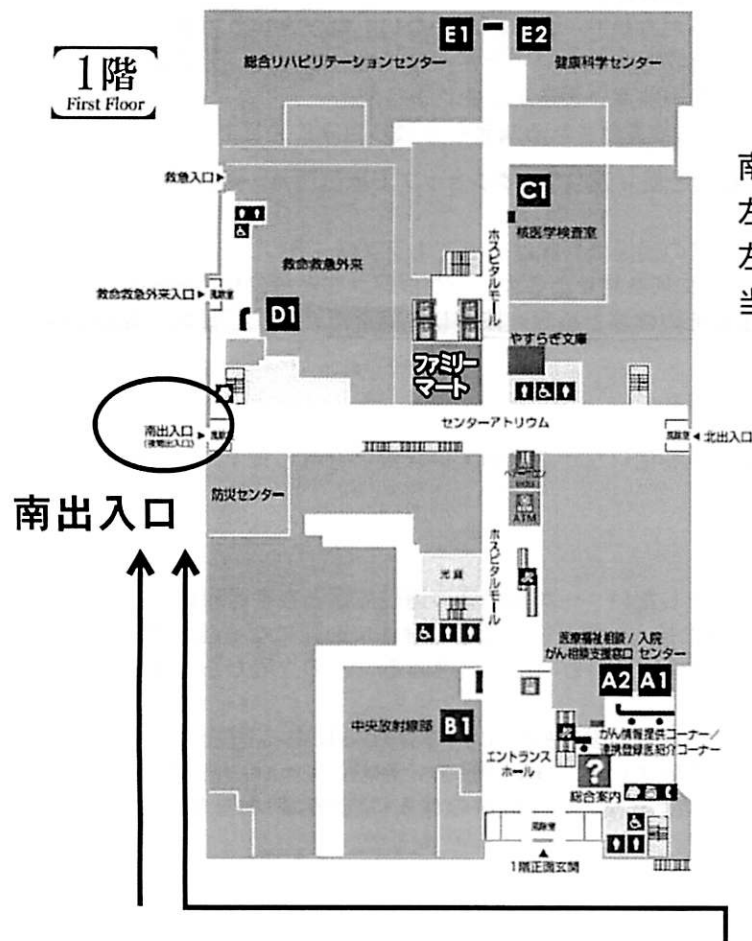
京阪電車・枚方市駅から「徒歩約3分」
病院駐車場のご利用は可能ですが
なるべく公共交通機関をご利用下さい
病院駐車場：1時間まで500円
以後1時間ごとに200円です

- 注1. 大学ではありません
注2. 日曜日のため、南出入口のみ
使用可能です



院内のご案内

Floor Guide



南出入口から正面に進むと
左手にファミリーマートがあります
左折してエレベーターで13階にあがって下さい
当日は看板があります